



山ろうだより

山形県立山形聾学校

R 5 第6号

令和5年7月25日

96周年 創立記念式



7月7日、創立記念式が行われました。今年度は、3年ぶりに同窓会長さんを来賓としてお招きすることができました。式終了後には、聾学校の歴史を写真や動画でまとめた特別映像で振り返りました。また、幼稚部から高等部までである本校ならではの「縦割り活動」も3年ぶりに実施しました。花の苗をプランターに植える縦割り活動では、先輩が後輩にやさしく植え方を教えたり、気遣ったり、後輩は先輩と一緒に一生懸命に取り組んだり、様子をじっと見ていたりするなど、経験を通してお互いに学ぶことが多い活動となりました。



～学部の様子から～

幼稚部 『校外学習 コパル』

幼稚部では、近隣にできた山形市南部児童遊戯施設「コパル」での校外学習を継続的に実施しています。

施設にある遊具を使って体力をつけることに加え、思い切って遊ぶ経験・遊びを選ぶ楽しい気持ちの共有をねらって活動をしています。



小学部 『読書月間 読み聞かせ』

小学部では、読書推進の取組みの1つとして、朝の時間を利用して、本の読み聞かせを行いました。

様々な本を読むことを通して、本の内容について子どもたちとやりとりをしながら、読書の面白さを感じてもらうことをねらいました。ご家庭でも本屋や図書館に行く機会を作っていたいただいたことを伺っています。今後も本に触れる活動を大切にしていきたいと思います。



中学部・高等部 『情報モラル教室』

7月18日に中学部、高等部合同で、「情報モラル教室」を行いました。山形警察署生活安全課少年補導専門官の方が来校し、ネットトラブル防止について、お話を伺いました。

山形県内で実際に起きているインターネットやSNSを悪用した事件の例や、法・条例に触れる利用のリスクなど身近な話題を取り上げ、自ら危険に近づかないように、ルールを決めて利用することの大切さを学びました。



寄宿舎「舎誕生会」

寄宿舎で7月13日に誕生会を行いました。

舎生で計画し、手づくり模型の大きなケーキや飾りつけ、プレゼントが用意され、誕生者をみんなでお祝いしました。

会の最後には、サプライズとして、誕生者が好きな曲を舎の先生方がピアノと打楽器で演奏し、みんなで聴き入りながら、盛り上がりました。とても心温まる会となりました。



～第1回学校評議員会を実施しました。(7月6日)～

本校の今年度の学校評議員(5名)

- 森谷留美子 氏 (本校元校長)
横田 雅司 氏 (横田耳鼻咽喉科医院長)
犬飼 晃 氏 (山形市南山形コミュニティセンター所長)
大沼 久美 氏 (村山障害者就業・生活支援センター ワークライフサポート ふうれ所長)
豊島 文子 氏 (本校PTA 副会長)



第1回学校評議員会について

7月6日に、第1回学校評議員会を本校校長室で開催しました。今回の会には、森谷評議員、犬飼評議員、豊島評議員に参加していただきました。会では、県からの委嘱状の手交、授業参観、学校からの報告(本年度の学校経営について、教育概況等)、意見交換を行いました。

意見交換で評議員の方から挙げられましたお話の中からいくつか紹介します。

◎通学の際の危険な箇所はないか。車道を歩いていると聞こえにくい人は、後ろからの車に気が付かないことが多く危険。歩道があることは安心だ。地域にボランティアで歩道の除雪をしている人がいる。地域のことや駅のことなど、いつでも相談して欲しい。

◎例えば、間違った日本語で話をしたとしても、「自分で話ができたね」「いいことを言ったね」と、できたことやしようとしたこと的事实を伝えてあげるだけで自尊心ややる気が育つと思った。1対1だと、見なくてもよいところも見えてしまう。1%の傷より99%の良いところを伝えることが大事。

◎親として子どもが社会に出るときに、自立してほしいと思うので、「社会のルールを守ること」「人に迷惑をかけないこと」が気になる。すると、注意したり、教えたりする関わりになりがち。探究心を育てるためにも褒めて育てることが大事だと思った

◎社会に出たときも、どこに助けを求めれば良いのか、例えば耳鼻科医に相談することで、知見を得られたり助けを得られたりできることなどがある。福祉関係で助けてもらうことは必然でもある。助けを求めるところをたくさん学んでほしい。



～夏季休業中の閉庁～



8月10日(木)～16日(水)は、教員・寄宿舍・事務部の全てを閉庁とさせていただきます。各種証明書等の手続きもできませんのでご了承ください。ご協力、よろしく申し上げます。

■編集後記■

今年度から2学期制になり、教育課程の変更等に伴って、保護者の皆様からの様々なご協力をいただき、ありがとうございました。

夏季休業中、事故や感染症等に関することは、学校へ連絡してください。休日や夜間は教頭携帯へお願いします。(文責:坂井)